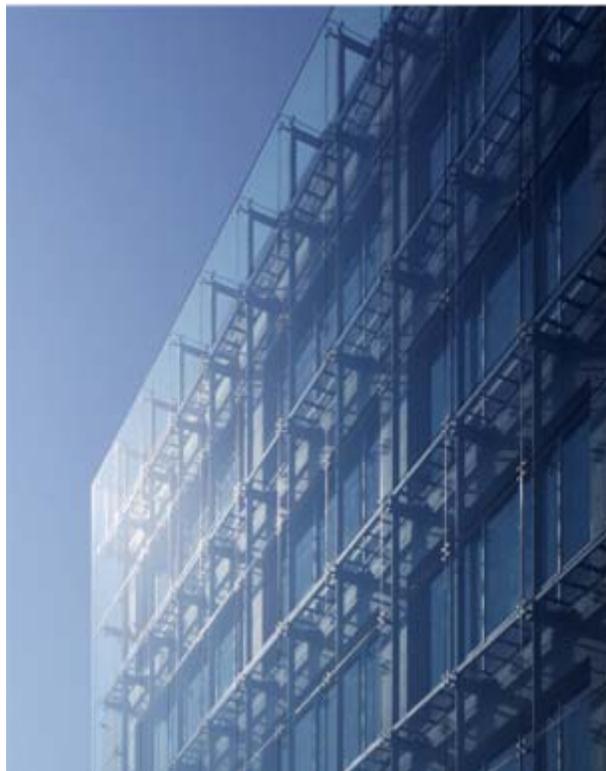


WAKATO BUILDING

京都市初 CASBEE “A”ランク 第1号承認

WAKATOビル プロジェクト概要





環境都市のモデル施設に

WAKATOビルは、環境先進都市・京都にふさわしい「地球環境に配慮したサステナブルなモデルビル」をコンセプトに、再開発中である京都駅南口のランドマーク施設として計画されました。

新景観法の施行された京都において、自然の材料が持つ素材感を活かした外観とし、ダブルスキンファサード、屋上庭園、太陽光発電パネル等の「環境配慮技術の可視化」といった提案型の手法により、新しい景観イメージを創出しています。また、プレストレストコンクリート構造、OAフロア等の採用や多用途対応により、「ハイスペックで長寿命なオフィスビル」としての仕様を確保しています。

同時に環境配慮型オフィスビルとして、第三者機関である日本ERI株式会社での評価により、CASBEE A ランクを京都市初 第1号承認として取得することができました。

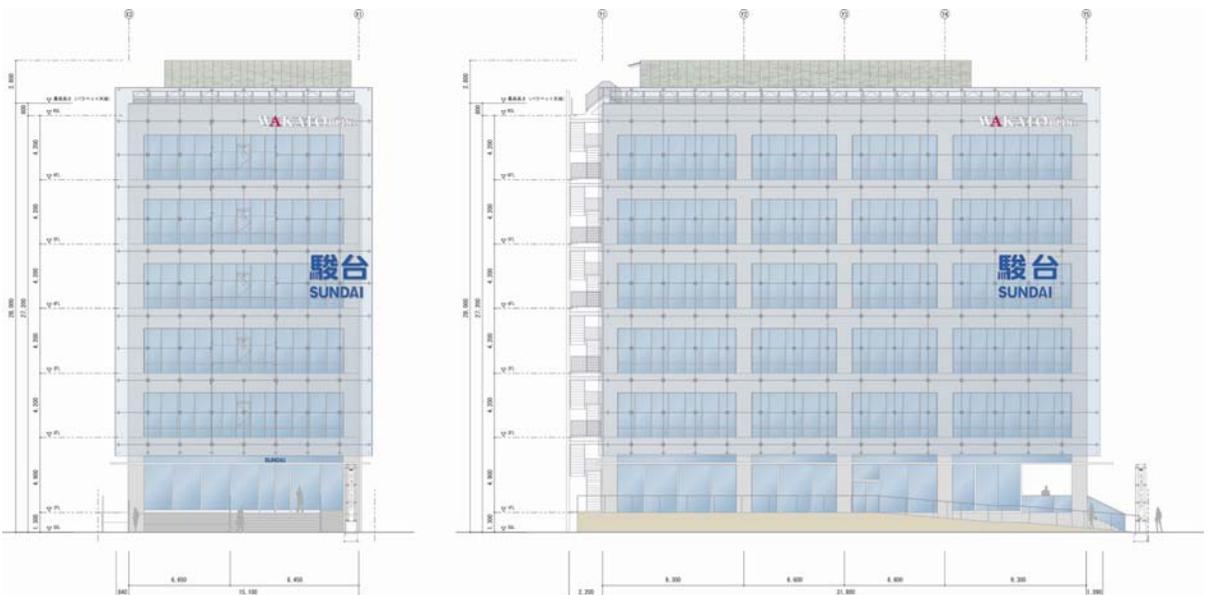




CASBEE A ランク認定の環境配慮型オフィス

1997年、COP3が京都で開催され、京都議定書が発行されました。現実には、環境対策が思いのほか進捗していないことが、この計画の契機となっています。株式会社若藤は京都の開発者として、CASBEE Aランクの環境配慮モデルビルを実際に建設し、提示することにより、地球環境配慮の取組みにおける民間事業者の先導的役割を果たすことを考えました。

建物が外気に大部分さらされる北面・東面をダブルスキンファサードとし、熱負荷を大幅に低減しています。テナントビルとして、太陽光発電パネル、屋上緑化、LED照明等の環境配慮技術を採用し、CASBEE Aランク(BEE = 2.4)、運用CO₂を32%削減、LCCO₂は23%削減を実現しています。



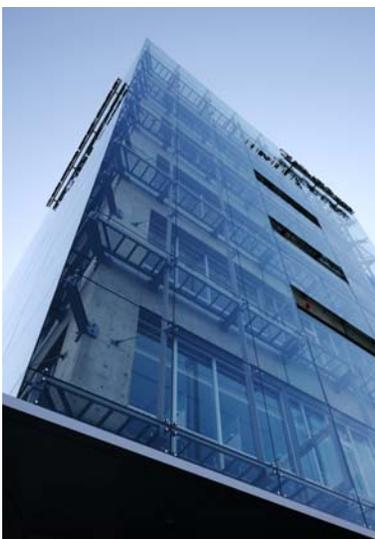


京都駅南口のランドマーク

京都駅方向からの北面・東面をダブルスキンとし、アウトースキンをDPG 構法によるフラットなガラススクリーンとすることで、透明性の高いガラスキューブとし、環境都市でのシンボリックな外観になることを意図しています。

陸屋根部分の屋上緑化と防音壁をヘデラによる緑化壁(H=3.4 m)とすることで、屋上部分をガラススクリーンを通した緑のスカイラインとしています。また、屋上は空中庭園として、デッキ床仕上げとし、緑化された憩いの場としています。

地上レベルは、アルミハニカム大庇とピロティにより、隣接する商業地域のオープンスペースや再開発街区に対して開いた構成とし、視覚的に一体化し街並みとつながることを意識しています。





室内全面サッシ

明るく開放的な執務空間

北面・東面・南面の全面採光としています。アウトースキンとインナースキンの2枚が透明ガラスのため、H=3000の全面サッシとあわせて、極めて明るい執務空間となっています。



エントランスホール



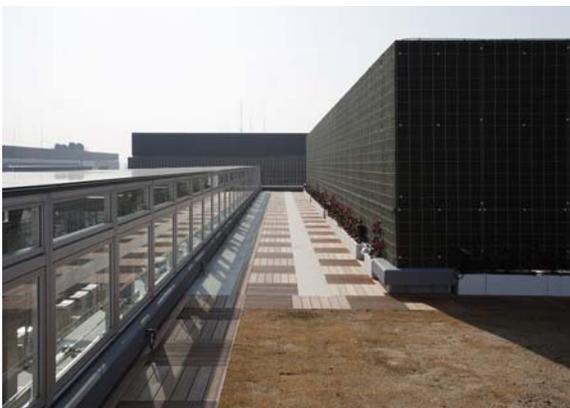
フロアカラーコンセプト

自然環境をテーマとした内部空間

内部色彩計画では、入居する駿台予備校に合わせて、フロアごとにテーマカラーと自然をモチーフとしたアイコンを設定しています。生徒に上昇感の感じられる明るいインテリアとしています。

案内サインには、フロアテーマとなる自然のモチーフと合わせて、太陽光発電カウンターを組込むなど、建物が環境学習教材となるエコスクール的な考え方を取り入れています。

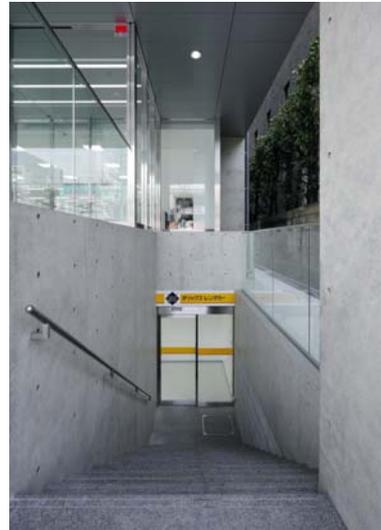
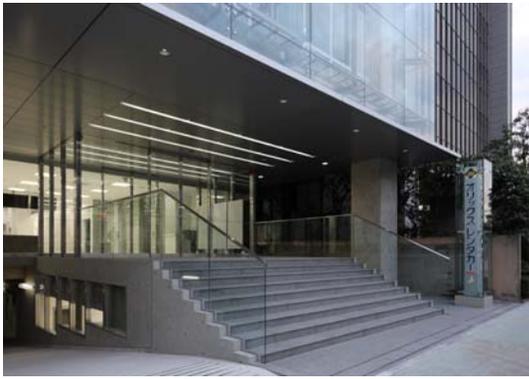
太陽光発電パネルや屋上緑化等の環境配慮技術を実際に見て学んでもらうことで、入居者やこれからの次世代に地球環境への配慮を伝えることを考えています。



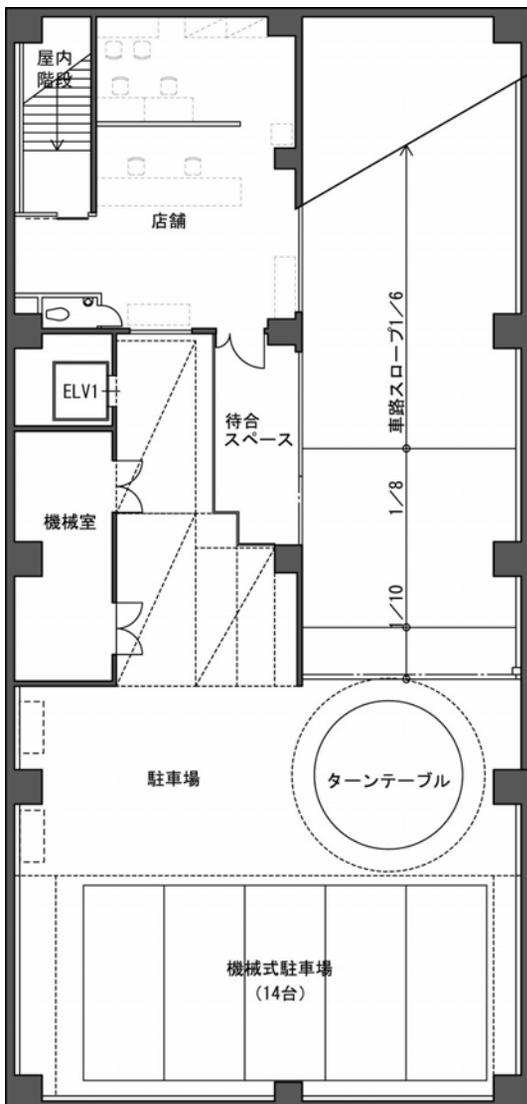
屋上庭



太陽光発電カウンター



店舗階段



店舗

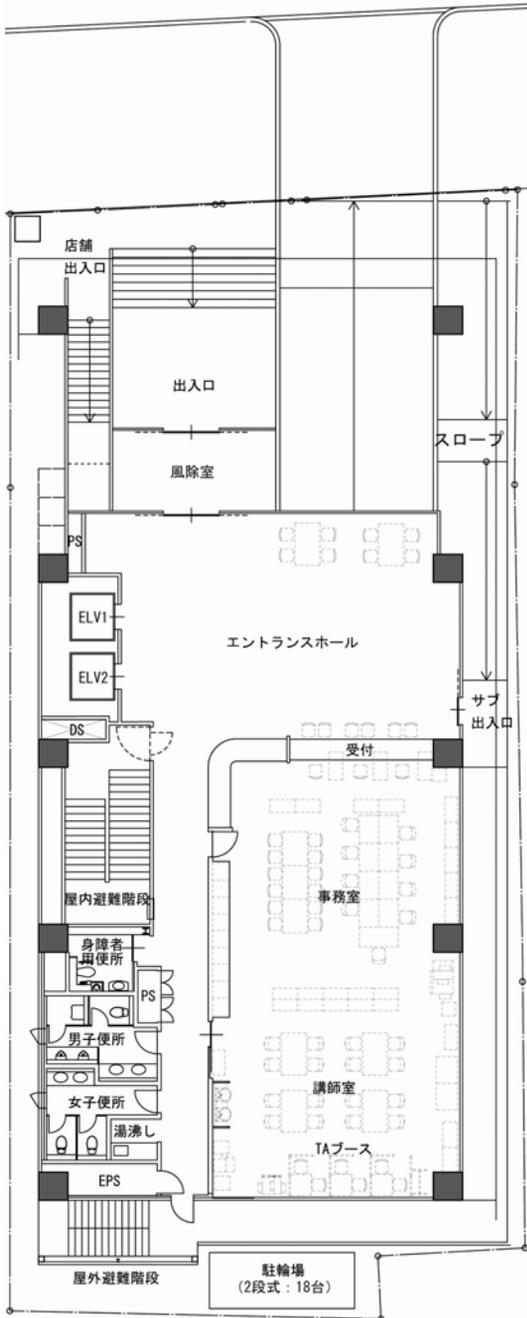


機械式駐車場

1



Stone 原石(フロアカラー:グレー)



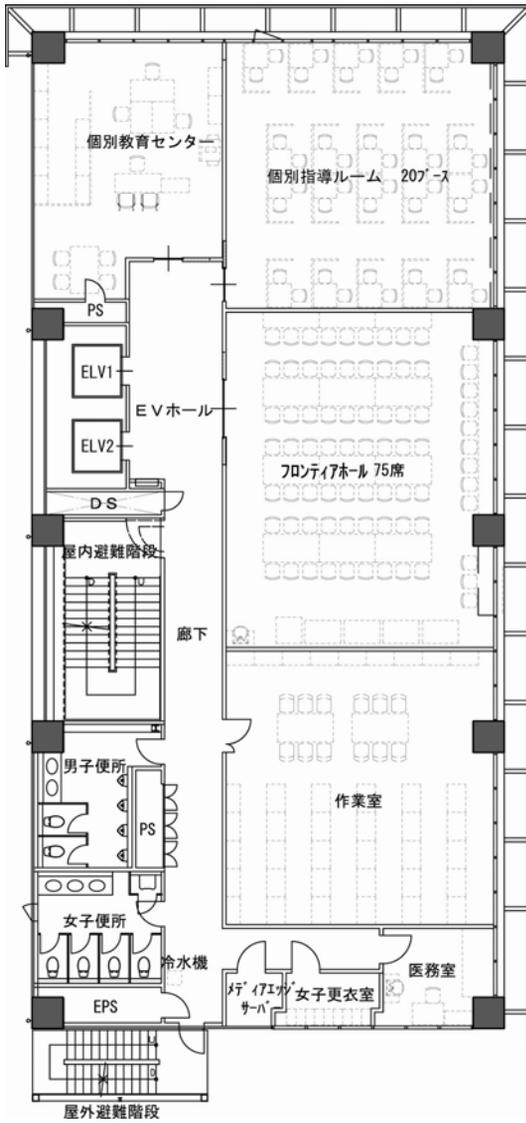
風除室



エントランスホール



事務室



2F廊下



個別指導ルーム

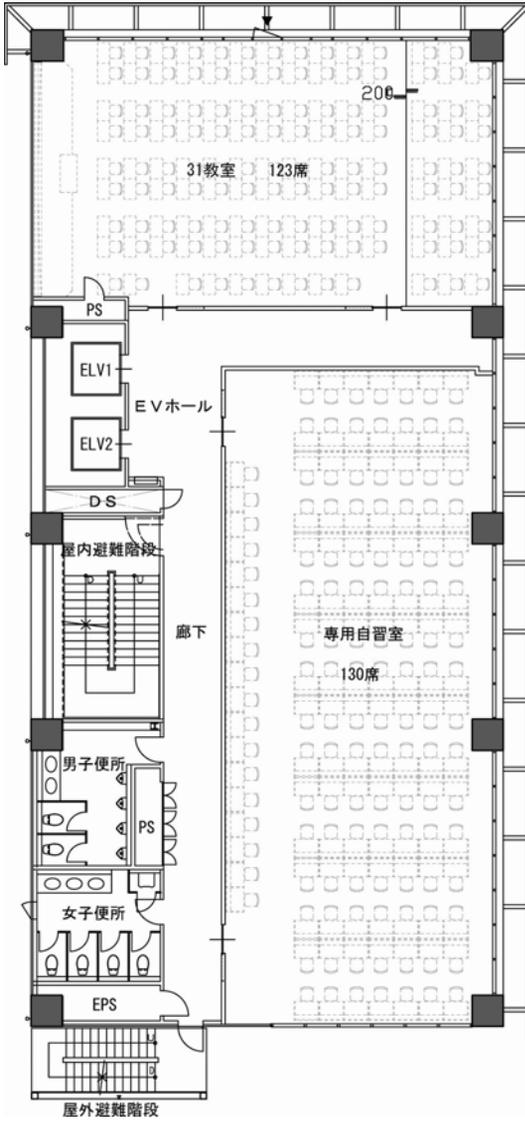


フロントホール

3



Leaves 葉(フロアカラー:グリーン)



3F廊下



31教室



専用自習室

4



Star 星(フロアカラー:パープル)



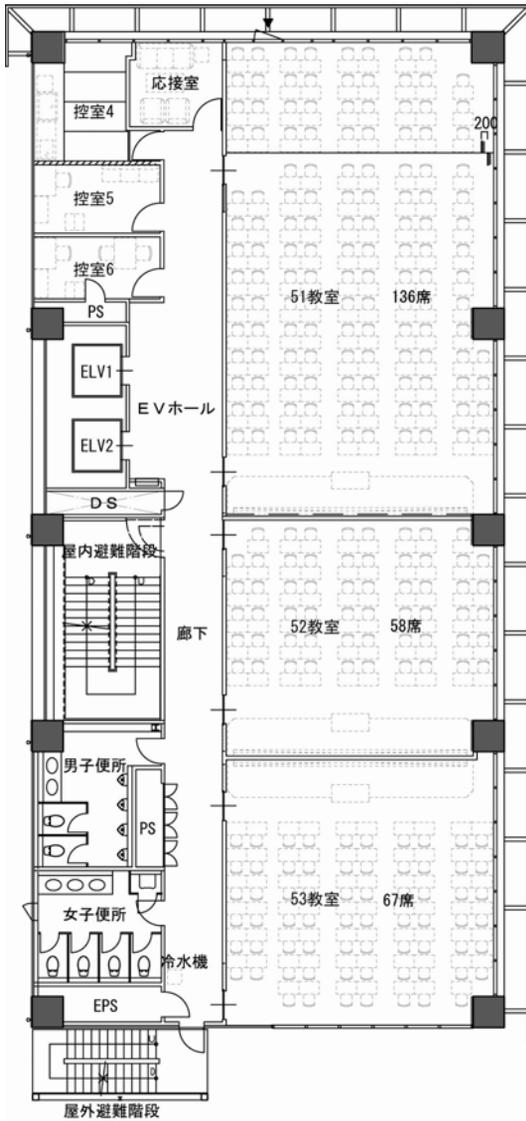
4F廊下



41 教室



メディアエッジ



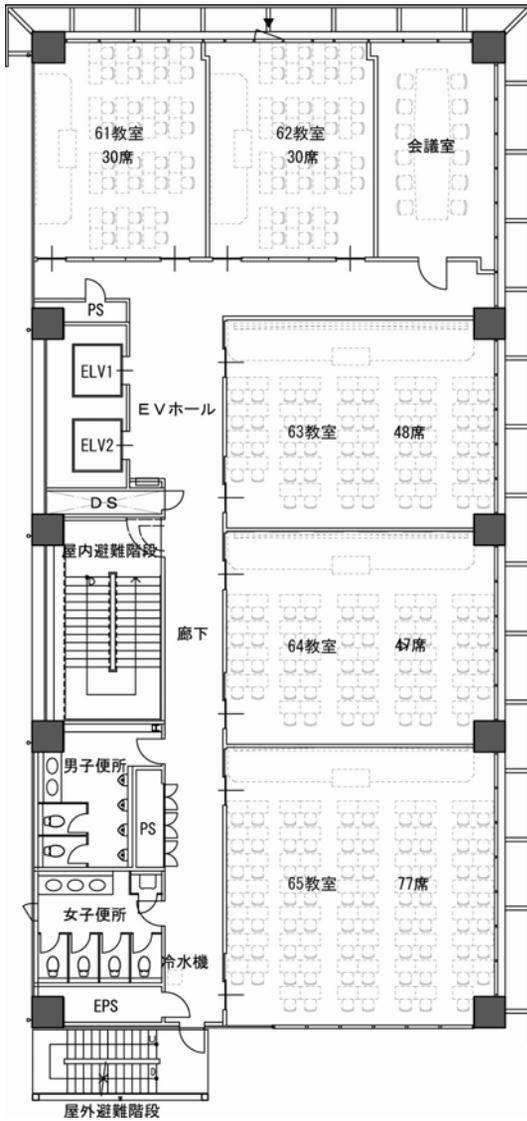
5F廊下



51 教室



53 教室



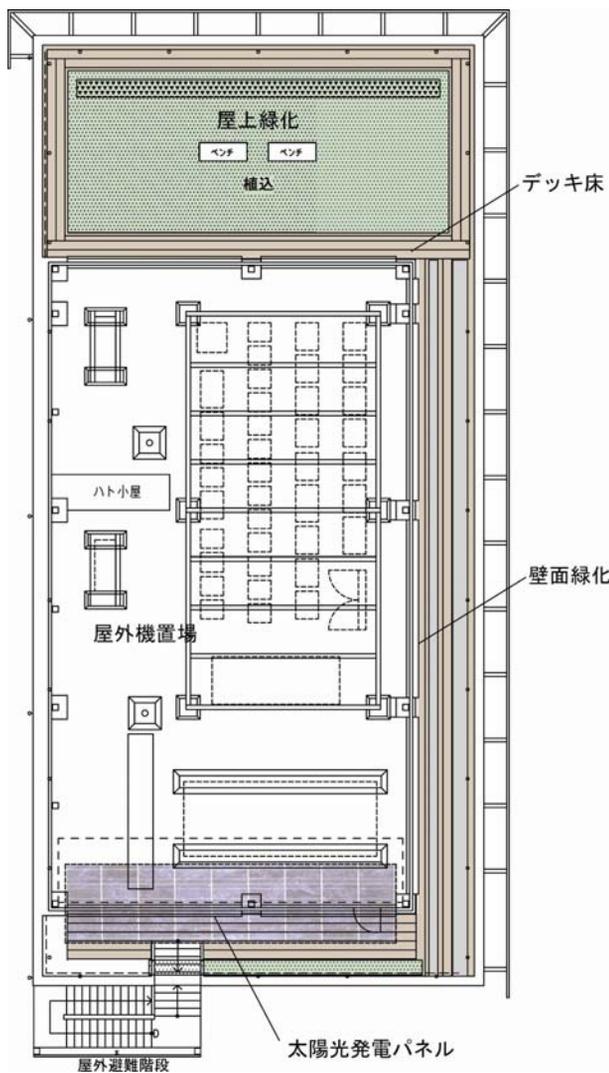
6F廊下



会議室



61教室



屋上緑化



屋上緑化壁



屋外機置場と太陽光パネル



多目的便所



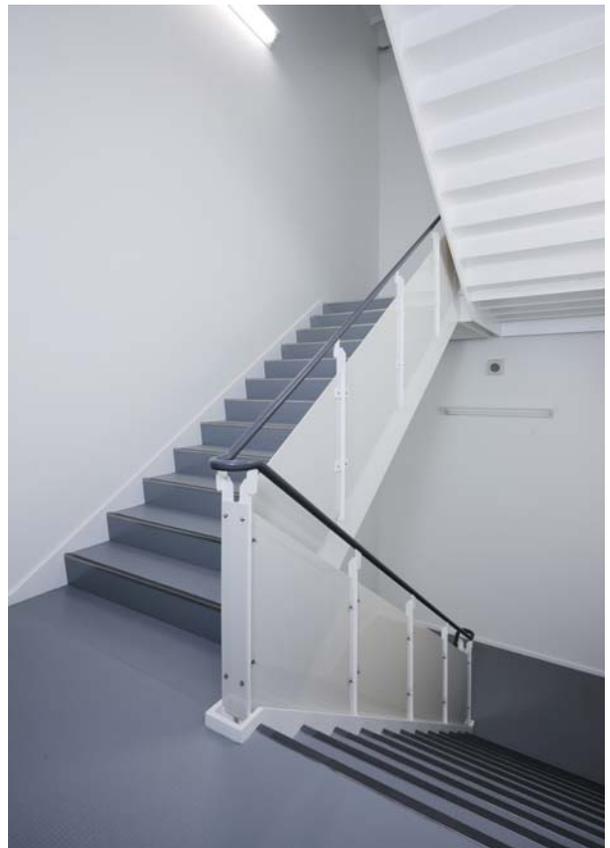
1階便所



男子便所



女子便所



屋内階段



新景観を創出するディテール

遷都1200年、素材感を重視する京都の伝統を継承し、WAKATOビルには、こだわりのディテールをふんだんに採用しています。時を重ね、京都のヴィンテージとなるビルを意図しています。

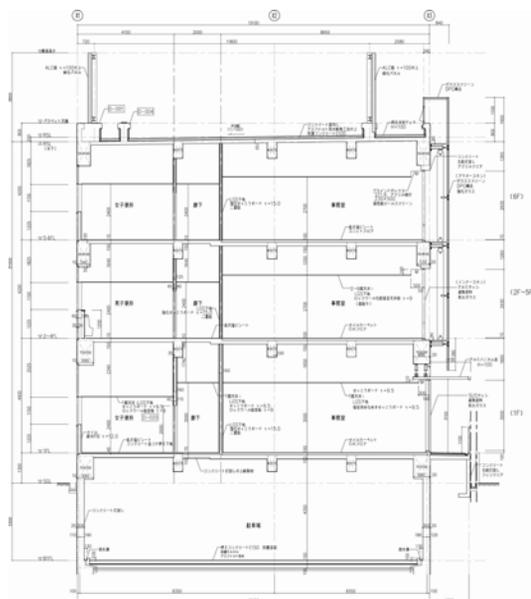
ガラス、コンクリート、アルミ、ステンレス、鉄の組合せによる素材感を活かした表現とするとともに、透明性を追求し、反射の少ない透明で抜け感のあるデザインとしています。



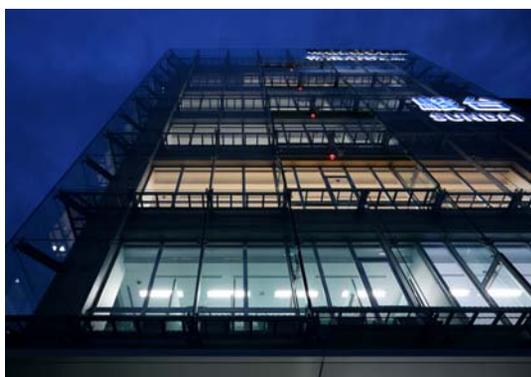
多用途対応するハイスペックビル

オフィス用途をベースとしながらも、スクール仕様にも対応しています。多用途対応とすることでCO2削減に効果的な建築の長寿命化を図ります。

スパン方向は、15mのプレストレスコンクリートによる無柱の空間とし、1F天井高は3m、2F~5Fの天井高は2.7mを確保しOAフロア対応としています。



断面詳細図



ダブルスキンの考え方

夏期:ダブルスキン頂部の開閉窓を開けた状態とし、建物上部と建物下部の温度差によるキャビティ内の煙突効果(ドラフト効果)により、ダブルスキン下部から、空気が引き込まれ、頂部の開閉窓から排出されます。

このキャビティ内の気流により、キャビティ内部やインターガラス表面の熱を除去します。

冬期:ダブルスキン頂部の開閉窓を閉めた状態とすることで、日射を受けたダブルスキン内部はガラス温室状態となり、室内は高い保温効果が保たれます。

【施設概要】

名称 WAKATOビル
所在地 京都市南区西九条北ノ内町13-1
設計期間 2008年5月～2008年12月
工事期間 2009年1月～2010年1月
発注者 株式会社 若藤
設計監理 株式会社 大建設
施工 株式会社 増田組
用途 事務所・駐車場
構造 鉄筋コンクリート造(一部プレストレストコンクリート造)
規模 地上6階地下1階
敷地面積 713.80㎡
建築面積 529.80㎡
延床面積 3355.68㎡
最高高さ 28.0 m

株式会社 若藤

本社 〒600-8052
京都市下京区綾小路通柳馬場東入
塩屋町60-2 ブロックMビル
TEL 075-342-1500 / FAX 075-342-1501

東京事務所 〒100-0014
東京都千代田区永田町2丁目10番2号
永田町TBRビル 1014号
TEL 03-3507-1500 / FAX 03-3507-1501

